

2019年6月26日
渋谷スクランブルスクエア株式会社

2019年11月、渋谷スクランブルスクエア第1期（東棟）15階に開業 「SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）」7月4日（木）から会員募集開始

コンセプトは「渋谷から世界へ問いかける、可能性の交差点」

スクランブル交差点を眼下にのぞむイベントスペース「SCRAMBLE HALL」の利用申込受付を開始

渋谷スクランブルスクエア株式会社は、2019年11月に開業する渋谷エリアで最も高い約230m・地上47階建ての大規模複合施設「渋谷スクランブルスクエア第1期（東棟）」15階に位置する会員制の産業交流施設「SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）」（以下、本施設）の会員募集を2019年7月4日（木）からオフィシャルWEBサイト（※）にて開始することを決定するとともに、同日7月4日（木）から本施設内イベントスペース「SCRAMBLE HALL（スクランブルホール）」の利用申込受付を開始することを発表します。



▲SHIBUYA QWS「SCRAMBLE HALL」イメージ



▲SHIBUYA QWS「PROJECT BASE」イメージ

本施設は、多様な人々が交差・交流し、社会価値につながる種を生み出す会員制の施設として、「渋谷から世界へ問いかける、可能性の交差点」をコンセプトに、2019年11月から営業を開始します。

主な特長として、コミュニティコンセプト「Scramble Society（スクランブル・ソサエティ）」、オリジナルプログラム「QWS Program（キューズプログラム）」の提供、共創と支援を促進する「多様でフレキシブルな空間」の3つがあります。

「Scramble Society」とは、渋谷ならではの多様な人々が年齢や専門領域を問わず集い、自発的・創発的に“問いの感性”を磨き合うことで可能性の種を生み出すコミュニティです。

また、「QWS Program」は、大学をはじめとするさまざまな領域のパートナーと連携し、価値創造を加速させる本施設のオリジナルプログラムです。参加者それぞれが持つ「問い」を掛け合わせることで、かつてない化学反応を次々と起こし、領域横断的な価値を生み出します。

15階のフロア全体を占める約2,600㎡の「多様でフレキシブルな空間」は、スクランブル交差点を眼下にのぞみ、200名規模のイベントが開催できる「SCRAMBLE HALL」、さまざまな活動が行われ、人々が行き交う空間「CROSS PARK（クロスパーク）」、交流や対話を促進する上質空間「SALON（サロン）」、新しい価値創造に取り組む場「PROJECT BASE（プロジェクトベース）」などの要素で構成され、共創と支援を促進します。

会員組織は3種類あり、個人もしくはグループで新しい価値創造に挑戦する「QWSメンバー」を中心に、法人会員「QWSコーポレートメンバー」、各分野で活躍しているリーディングプレイヤーなど本施設の価値に共感し支援するコミュニティ「QWS commons」で構成されます。それぞれの会員プランによって会員特典が異なり、プログラムやイベントへの優待、フロアの利用権限などが付与されます。

詳細は、別紙のとおりです。

※ オフィシャルWEBサイト（<https://shibuya-qws.com/>）

＜本件に関する報道関係者様からのお問合せ先＞
渋谷スクランブルスクエア PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内）
担当：小池、福井、前田、杉谷、岩崎
TEL：03-6894-3200 FAX：03-5413-3050
E-mail：scramble_square_pr@ssu.co.jp

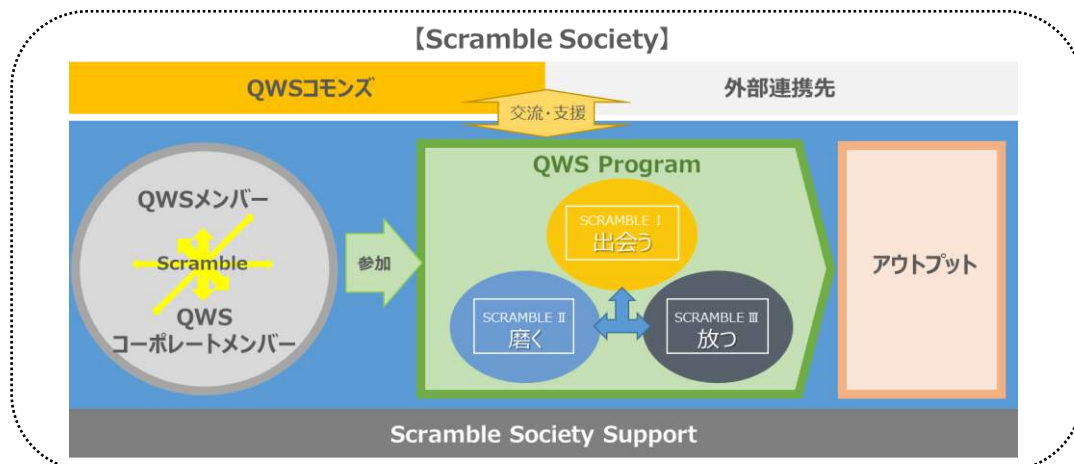
【別紙】

■ 「SHIBUYA QWS」 3つの特長

① コミュニティコンセプト「Scramble Society (スクランブル・ソサエティ)」

SHIBUYA QWS は、年齢や専門領域を問わず、渋谷に集い活動するグループのための拠点です。

コミュニティコンセプトを「Scramble Society」とし、グループ間の交流や領域横断の取り組みから化学変化が生まれ、未来に向けた価値創造活動を加速させます。



※「Scramble Society Support (スクランブルソサエティサポート)」は、コミュニティマネージャーの常駐など、「Scramble Society」の活動を活性化させる SHIBUYA QWS の日常的な取り組み・サービスです

② オリジナルプログラム「QWS Program (キューズプログラム)」

「QWS Program」は、大学をはじめとするさまざまな領域のパートナーと連携し、価値創造を加速させる SHIBUYA QWS のオリジナルプログラムです。プログラムは、「出会う」「磨く」「放つ」の3つのフェーズに分けて提供を行い、参加者それぞれが持つ「問い」を掛け合わせることで、かつてない化学反応を次々と起こし、領域横断的な価値を生み出します。

<3つのフェーズ>

- Scramble I 「出会う」 ～未知の「問い」・感性に出会う～
- Scramble II 「磨く」 ～「問い」を磨き、プロジェクトを発展させる～
- Scramble III 「放つ」 ～「問い」から生まれた可能性を社会に放つ～

<プログラム例>

・QWS アカデミア

大学と連携した「問い」と出会うためのプログラムです。大学には多様な「問い」と向き合う研究者やプレイヤーがいます。「QWS アカデミア」は、単に知識が伝達される授業ではなく、双方向に刺激を与え合い、化学反応を生み出すことを目指します。

・QWS Cultivation Program (キューズカルティベーションプログラム)

ワークショップやイベント、アカデミックリサーチの支援などを通して、「問う」力や感性を耕すプログラムです。「問い」に惹きつけられた仲間たちと巡り会い、「問い」の可能性を社会へと広げていきます。

※オープントライアルを6月25日(火)より開始しています

詳しくはお申込みサイト (<https://qws-culpro-vol01.peatix.com/>) をご参照ください

・リ/クリエーション

いつものプロジェクトから一時視線を外して、「遊び」や「余白」から創造性を取り戻すプログラムです。アート・デザインの視点をプロジェクトに繋げます。

・クエスチョンカンファレンス

多様なバックグラウンドの登壇者が集い、多様な「問い」を混ぜ合わせながら未来の可能性を探るトークカンファレンスです。

・スクランブルミーティング

会員限定の予約制ミーティングです。「Scramble Society」の多様なプロフェッショナルと1対1で話せる場を提供します。自分の中に生まれた「問い」を、他者と磨き合う機会として活用できます。

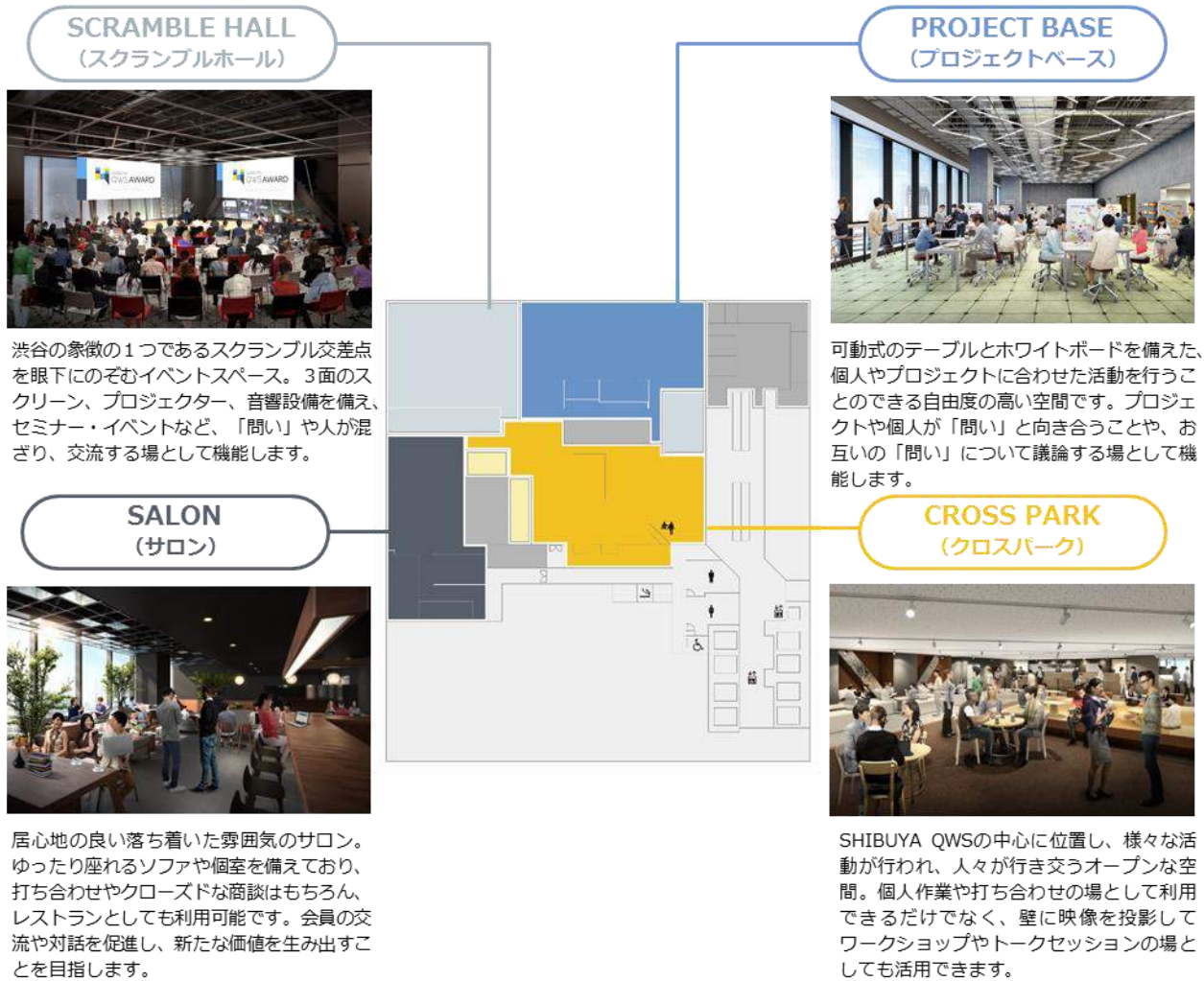
・アクセラレートステーション

プログラム提供組織や法人等と連携し、多様なプロジェクトが放たれるプラットフォームを担います。

※プログラムの名称・内容は変更になる可能性があります

③ 共創と支援を促進する「多様でフレキシブルな空間」

15階のフロア全体を占める約2,600㎡の空間は、スクランブル交差点を眼下にのぞみ、200名規模のイベントが開催できる「SCRAMBLE HALL (スクランブルホール)」、さまざまな活動が行われ、人々が行き交う空間「CROSS PARK (クロスパーク)」、交流や対話を促進する上質空間「SALON (サロン)」、新しい価値創造に取り組む場「PROJECT BASE (プロジェクトベース)」などの多様な要素で構成され、共創と支援を促進します。



■主な連携パートナー (順不同)

SHIBUYA QWSは、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、早稲田大学、東京都市大学をはじめ株式会社ロフトワーク、EDGEof、NPO法人 ETIC、株式会社ミミクリデザイン、ドリフターズインターナショナル、株式会社東急エージェンシー、三浦法律事務所、フォースタートアップス株式会社など、領域を横断しさまざまなプレイヤーと連携していきます。(2019年6月現在)



■会員プラン

7月4日(木)から会員募集を開始します。会員組織は、個人もしくはグループで新しい価値創造に挑戦する「QWSメンバー」を中心に、法人会員「QWSコーポレートメンバー」、各分野で活躍しているリーディングプレイヤーなどSHIBUYA QWSの価値に共感し支援するコミュニティ「QWS commons」の3種類で構成されます。それぞれの会員プランによって会員特典が異なり、プログラムやイベントへの優待、フロアの利用権限などが付与されます。

※金額は税別

※入会申込については7月4日(木)以降、オフィシャルWEBサイト (<https://shibuya-qws.com/>) をご参照ください

組織	会員区分	入会金	会費	概要
QWSメンバー	QWSメンバー	1万円/人	2.5万円/月/人	■利用可能施設：PROJECT BASE、CROSS PARK、SCRAMBLE HALL (※1) ■プログラム参加：優待あり (一部無料)
	QWSプロジェクトメンバー	1万円/人	1.5万円/月/人	■利用可能施設：PROJECT BASE、CROSS PARK、SCRAMBLE HALL (※1) ■プログラム参加：優待あり (一部無料) ※適用条件：3名以上であること (テーマ登録が必要)。
QWSコーポレートメンバー	QWSコーポレートメンバー	5万円/法人	100万円/年	■利用可能施設：PROJECT BASE、CROSS PARK、SCRAMBLE HALL (※1) ■プログラム参加：優待あり (一部無料) ■その他：1法人につき2名の個人IDを発行 (同伴者2名まで可)。 SCRAMBLE HALL優待あり。
QWS commons	QWS commons	(※2)	(※2)	■利用可能施設：SALON、PROJECT BASE、CROSS PARK、SCRAMBLE HALL (※1) ■プログラム参加：優待あり (一部無料) ■その他：同伴者3名まで可。SALON個室利用可。

※1 イベント使用時は除く

※2 詳しくはお問い合わせください

■イベントスペース「SCRAMBLE HALL」について

7月4日(木)から「SCRAMBLE HALL」の利用申込受付を開始します。

利用可能時間：

<午前・午後> 9:00~15:00 (6時間)

<午後・夜間> 16:00~22:00 (6時間)

<全日> 9:00~22:00 (13時間)

利用料金：

<午前・午後> 230,000円 (税抜)

<午後・夜間> 230,000円 (税抜)

<全日> 420,000円 (税抜)

※備品・人件費を含まず

面積：約200㎡

主な設備：200インチスクリーン (3面)、プロジェクター (3台)、音響設備、ライティングレールなど

予約期間：利用日の6カ月前の1日より申込受付

※詳しくは7月4日(木)以降、オフィシャルWEBサイト (<https://shibuya-qws.com/space/rental>) をご参照ください

<施設概要>

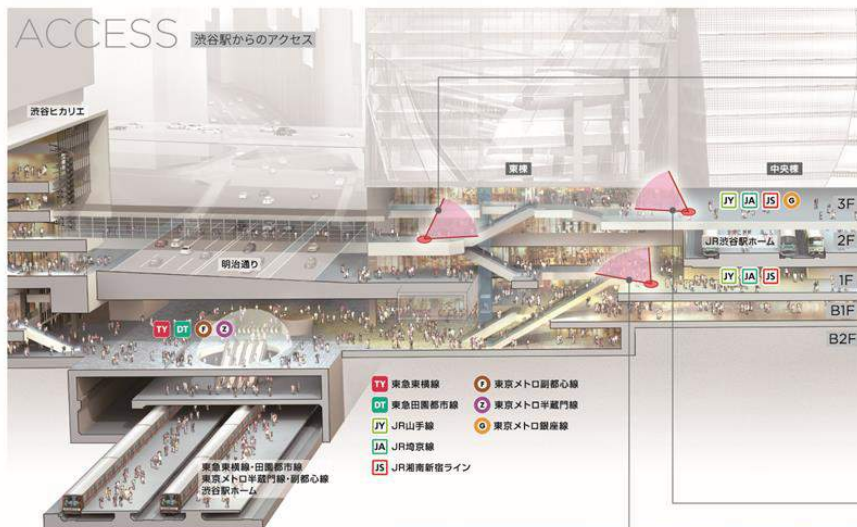
- 名称： 渋谷スクランブルスクエア/SHIBUYA SCRAMBLE SQUARE
 事業主体： 東京急行電鉄(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)
 所在： 東京都渋谷区渋谷2丁目24番12号
 用途： 事務所、店舗、展望施設、駐車場など
 延床面積： 第Ⅰ期(東棟)約181,000㎡、第Ⅱ期(中央棟・西棟)約96,000㎡
 階数： 第Ⅰ期(東棟)地上47階 地下7階、
 第Ⅱ期(中央棟)地上10階 地下2階、(西棟)地上13階 地下5階
 高さ： 第Ⅰ期(東棟)約230m、第Ⅱ期(中央棟)約61m、(西棟)約76m
 設計者： 渋谷駅周辺整備計画共同企業体
 ※(株)日建設計、(株)東急設計コンサルタント、(株)JR東日本建築設計、メトロ開発(株)
 アーキテクト： (株)日建設計、(株)隈研吾建築都市設計事務所、(有)SANAA 事務所
 運営会社： 渋谷スクランブルスクエア(株)
 ※東京急行電鉄(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)の3社共同出資
 開業： 第Ⅰ期(東棟)2019年11月、第Ⅱ期(中央棟・西棟)2027年度
 URL： <https://www.shibuya-scramble-square.com>



▲渋谷スクランブルスクエア(宮益坂交差点方面よりのぞむ)



▲フロア構成図



▲1階アーバン・コアイメージ(北側より)



▲2階アーバン・コアイメージ(渋谷ヒカリエ連絡通路出入口より)



▲3階アーバン・コアイメージ(西側より)